

# 東京湾における海洋短波レーダの実運用に向けた技術検討

川崎栄久\*・公平和裕\*\*・福原哲夫\*\*\*・藤澤孝夫\*\*\*\*

\* (財) 沿岸技術研究センター 調査部 研究員

\*\* 前 国土交通省関東地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 施工技術係長

\*\*\* 国土交通省関東地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 課長補佐

\*\*\*\* 国土交通省関東地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 課長

## 概要

日本沿岸域に設置されている海洋短波レーダは2010年現在、実験局として運用されている。今後、実用局の免許を取得するためには、海洋短波レーダが他の電波利用サービスに対して電波干渉を与えないことが前提となるため、実用局の免許取得に向けて国土交通省関東地方整備局港湾空港部では、東京湾を対象に海洋短波レーダの電波干渉に関する技術検討を行っている。本検討では、東京湾の海洋短波レーダが他の電波利用サービスに対して電波干渉を引き起こさない最小離隔距離を算出し、電波干渉対策を検討した<sup>1)</sup>。

キーワード：東京湾の海洋短波レーダ，地上波伝搬，電波干渉対策

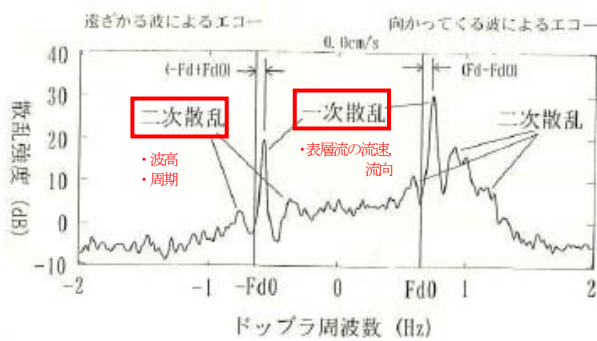


図-1 ドップラースペクトルの例<sup>3)</sup>



図-3 東京湾の海洋短波レーダの設置状況

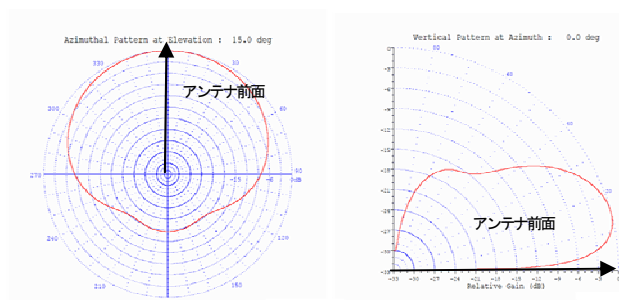


図-2 海洋短波レーダのアンテナパターン

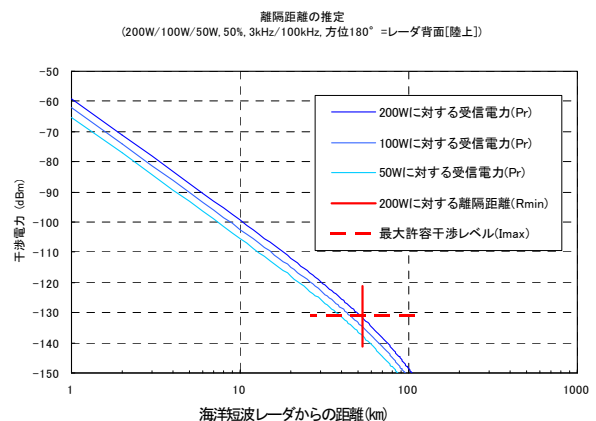


図-4 最小離隔距離の推定